

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	自主共同花の台学童保育ホール
-----	----------------

取組の名称	学童保育をベースとした地域子育て支援
実施場所	花の台学童保育ホール及びつつじ公園
対象地域	宮前区有馬、馬絹、小台周辺
対象地域の特色・課題	<p>有馬地区は植木の里や梨畑などが点在する一方、鷺沼駅や宮前平駅から徒歩圏内に位置し都内への通勤等の利便性が大変良いため、1980年代に入り宅地開発が急激に進みました。また、地元地権者の高齢化や相続等の背景もあり、現在もマンションや一戸建の建設が続いています。このような状況から比較的若い世代の転入が増加し、核家族化が進んでいます。また、転勤等による転入も多く、保育園や学童保育などの需要が非常に高い地域です。特に小学校の児童数は多く、学区の宮崎小学校は児童数1,200人を超えるマンモス校です。近隣の三校でも児童数が1,000人を超えています。保育園の受け入れ児童数はこの10年で大幅に増加しました。しかしながら、学童保育については主にわくわくプラザだけで対応しており、わくわくプラザの大規模化が進んでいます。このような状況から小学生の放課後の過ごし方の選択肢を増やし、より豊かに過ごすことができる放課後の居場所が求められています。また子育て中の親子の交流や子育てに関する情報交換などが気軽にできる場所が地域にもっと必要と思われれます。</p>
取組の趣旨・目的	<p>①学童保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学生の放課後の居場所として、保護者の就労等を問わず受け入れる。 ・第2の家庭として、生活の場として、常勤の放課後児童支援員の資格をもった指導員が一人ひとりに「おかえり」と声掛けして迎える。こどもたち一人ひとりに寄り添い、それぞれの思い受けとめ、共感したりしながら発達状況に応じた支援を行う。 ・年間を通して継続して活動することにより子どもの異変に早期に気づき、保護者と連携しながら、場合によっては当該小学校とも連携を図り、適切な支援を行う。 ・「遊びはこどもの主食」をモットーに遊びを主体とした活動を行い遊びを通して自主性や協調性及び自己肯定感を育む。 ・異年齢で構成する班活動で掃除当番や食事・おやつ当番など

	<p>様々な活動を通して主体性や協調性ならびに自己肯定感を育て、生活習慣を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプなど野外活動を通して、自然に触れ、協調性や仲間意識などを育み、豊かな体験づくりを行う。 ・学校外にある施設のため、不登校に陥った子どもの対応も行う。 <p>②地域子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のこどもたちに伝承遊びや集団での遊びなどを教えて交流する。 ・子育てに関する情報交換や悩みなど気軽に話ができる居場所づくりを行う。 ・毎日遊ぶ近隣の公園で地域の子どもたちと一緒に集団での遊びや昔ながらの遊びをして交流する。 ・毎日活動する近隣の公園で指導員が見守ることにより、危険防止や防犯の役割を担う。
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>1. 学童保育事業 日曜、祭日、年末年始と夏季休業（4日間）を除く毎日。</p> <p>①新入生歓迎会（4/20）宮崎小学校にて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 90名 ・新入生親子と在室生親子、OBOG、指導員がゲームなどを通じて親睦を深めた。 <p>②高学年(5,6年生)春合宿（4/25～26） 花の台ホールにて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 8名 ・高学年としてどんな花の台にしていきたいか話し合う。 <p>③一年生お泊り会（6/27～28）花の台ホールにて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 9名 ・1年生同士及び指導員との親睦を深める。 ・親子キャンプへ向けて宿泊の経験をする。 <p>④子どもの班長によるキャンプ下見（6/7）新戸キャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 12名、他父母 ・道志川のキャンプ場へ学童キャンプの下見に出かける。キャンプ場の様子を見たり、火おこしの練習を行った。 <p>⑤高学年（5、6年生）遠足 （7/23 ヨネッティ王禅寺、11/9 昭和記念公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 7/23：8名、11/9：8名+引率指導員 2名 ・高学年生自身の企画によるお出かけ。 <p>⑥親子キャンプ（7/26～28）新戸キャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 100名（親子）



・道志川のキャンプ場で父母参加のキャンプを実施。班ごとの食事作りや川遊び、キャンプファイヤーを行った。



⑦新入室説明会 (9/7) 花の台ホールにて実施

・参加 17 名 (9/7)

⑧科学実験教室 (12/10)

・参加 32 名

・卒室生の母による科学に親しむ会。

⑨日本こままわし協会のこま検定 (10/9、12/4、2/19)

・参加 (10/9 : 33 名、12/4 : 30 名、2/19 : 30 名)

・全日本こま技選手権 4 連覇達成のプロ、こまのたけちゃん他による検定

⑩高学年(5,6 年生)合宿 (2/28~3/1) ペガサスの家にて実施

・参加 7 名

・丹沢の山荘で冬の自然体験

⑪卒室・進級お祝い会 (3/28) 西有馬おひさま保育園にて実施

・参加 91 名

・卒室生と在室生の進級を親子、指導員でお祝いする。

2. 地域子育て支援事業

①遊ぼう会 (6/21、11/15)

・地域の子育て中の親子の交流を目的として実施。

遊ぼう会 (会場: 自主共同花の台学童保育ホール)

○第1回 6月21日 (土) 10時~11時半

《参加者》児童23名

(2歳児1名、年中児3名、年長児6名、1年生3名、2年生3名、4年生4名、

5年生1名、6年生2名)

保護者12名 スタッフ6名

《内容》工作コーナー (輪ゴム鉄砲)、コマ遊びコーナー、

折り紙・塗り絵・マンカラ等フリーコーナー、相談コーナー

学童で普段から楽しんでいる遊びを体験し、相談コーナーでは写真などを見ながら放課後の生活などの不安や質問に答え、子育て相談などを実施した。子どもは遊びながら、保護者は色々話をしながら、花の台の放課後の生活の様子を加ってもらいと共に交流を持つことができた。

遊ぼう会 (会場: 自主共同花の台学童保育ホール)

○第2回 11月15日 (土) 10時~11時半

《参加者》児童8名

(2歳児1名、年中児1名、年長児1名、1年生1名、2年生1名、4年生3名)

保護者3名 スタッフ4名

《内容》工作コーナー (クリスマスツリー)、コマ遊びコーナー、

折り紙・ボードゲーム等フリーコーナー

学童で普段から楽しんでいる遊びを体験してもらい、工作コーナーでは、子どもと一緒に作りながら保護者とスタッフで放課後の生活などについて話し、交流を深めた。子どもは遊びながら、保護者は色々話をしながら、花の台の放課後の生活の様子を知ってもらいと共に交流を持つことができた。



② 子ども祭り (10/19、1/17)

雨天のためつつじ公園での子ども祭りは中止。後日アリス馬絹保育園にて出張子ども祭りを行った

- ・参加 10/19 (バザー) : 200名、1/17 : 100名 (概算)
- ・花の台の子どもたちがゲームなどのお店を企画・運営して地域のこどもたちや父母との交流を図る。祭りの前後にはつつじ公園の清掃を行う。(清掃は雨天のため中止)

③ 保育園こま交流会の実施 (12/25 中有馬、26 おひさま)

- ・近隣の中有馬保育園、西有馬おひさま保育園に花の台の子どもたちと訪問して子どもたちがコマ技を披露し、園児一人ひとりにコマの回し方を教え交流する。

④ 餅つき、新成人お祝い会 (1/18) 花の台ホールにて実施

- ・参加 100名 (概算)
- ・子どもたちと餅をつき、日頃お世話になっている近所の方々に配る。また新成人の花の台OB・OGを招き、餅をついて成人をお祝いする。



⑤ 有馬こども文化センターの行事に参加、協力する。

- ・利用者会議に参加 (4/26、6/14、10/25、1/31)

⑥ 有馬町会の行事等に参加、協力する。

- ・ニューイヤーフェスタ in 有馬 (1/17)

有馬町会「ニューイヤーフェスタ in 有馬」参加報告

01 参加概要

項目	内容
イベント名	ニューイヤーフェスタ in 有馬
開催日	2025年1月17日 (土) 10時~12時30分 (9時30分準備開始)
会場	有馬中央公園 (有馬4丁目)
参加者	大人4人 子ども3人
参加目的	花の台で続けているコマを通しての地域交流、活動のお手伝い

02 実施内容

1. 設営準備



花の台よりペーゴマ台。コマ、コマ振持ち寄り

2. 伝授



伝の巻き方、投げ方指導

3. 交流



子どもだけでなく父母ともコマを通して交流しました



たくさんの子もたちが参加してくれました

⑦ 子育ておしゃべりサロンを開催 (9/13、2/8)

子育ておしゃべりサロン報告書

01 概要

- 子育てに関する情報交換や悩みなど気軽に話ができる居場所づくりを行う。
- 地域にお住まいの方から悩み物を教わりながら交流を深める

02 実施内容

実施日時
9月13日(土)15:00~17:00
実施場所
花の台学童保育ホール
参加人数
講師1名 大人5人子ども1人



子育ておしゃべりサロン (味噌作り) 報告書

01 取り組みの背景と目的

- 地域の講師を招き、地域の子育て世代との交流を深める
- 無添加味噌の手作りによる食育推進

02 実施内容

実施日時 |
2026年2月8日 10:00~12:00
実施場所
花の台学童保育ホール
参加人数
講師1名 補助員3名 参加者12名 子ども6名



会場：花の台学童保育ホール



講師による食育に繋がる材料、作業工程の説明



作業をしながら交流を深める様子



各自作った1キロの味噌は持ち帰り
10カ月の熟成後に食べられるようになります

参加者の年代	1.学童保育事業 小学生 2.地域子育て支援 幼児~大人	定員 (1回あたり)	1. 43人 2. 定めず
実施頻度	1. 日曜、祝日を除く毎日 2. 隔月1回程度	活動日数 (年間)	290日
スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> 常勤指導員2人(放課後児童支援員の有資格者) 非常勤指導員2人(内1人は放課後児童支援員の有資格者) 運営委員5人(地域ボランティア) 花の台学童保育父母会有志 地域ボランティア 		

<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>◆連携する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の台学童保育後援会 ・近隣保育園 ・宮崎小学校 ・西有馬小学校 ・有馬こども会 ・有馬町会 ・有馬こども文化センター <p>◆連携の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎、西有馬小学校とは在籍児童の名簿を提出し緊急時等の連携を図る。 ・近隣保育園に行事等のチラシを配る。またコマ交流会等の打ち合わせなどで連携を図る。 ・花の台学童保育後援会とはメール連絡網及び毎月開催される父母会に担当者が出席する。 ・有馬こども会、有馬町会、有馬こども文化センターとは各行事の実行委員会、利用者会議等に参加する。また、チラシ等の配布を行う。
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>1. 学童保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の基準に則り学童保育を実施することにより、子どもの権利と保護者の就労を保証することができた。アットホームな集団で子供一人一人の発達に合わせた保育を行うことで子どもの安心につなげることができた。放課後の生活が安定することで、学校生活や家庭でも落ち着いて活発に活動することができた。 ・イベントを自分たちで考え実施するなどの機会を持つことで、失敗を含めた様々な体験を積むことができ、社会性を身につけることへ繋がった。 ・年間を通して活動することで、虐待・不登校や貧困など困難を抱える子どもの異変に早期に気づくことができ、支援へとつなげていくことができる。中高、大学生となった思春期の子どもたちに対しては、OB・OGに限らずボランティアとして受け入れ、いつでも寄れる場所としている。 ・保護者の就労を入会条件としていないため、地域の小学生の放課後の居場所となりえる。 <p>2. 地域子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様なイベントを実施することによって、様々な年代の地域住民とコミュニケーションを取れる交流の場を提供することができた。 ・地域の関係団体と協力して行事を行うことにより、連帯感が生まれ、連携が容易となった。 (有馬町会、有馬こども文化センターの行事等) ・花の台ホールの中で大切にしている遊びや文化を発信し、広げていくことができた。(遊ぼう会、保育園こま交流会等)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・毎日活動する近くの公園では、指導員が見守ることにより、公園内の危険を発見したり防犯の役目を果たすことができた。・子どもたちが地域における遊びと生活を豊かにするために、地域の方々と連携し、この地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供することができた。 |
|--|---|